

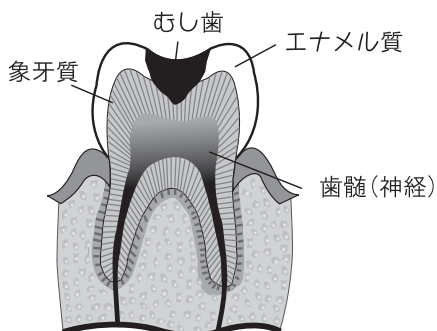
「治療したのに歯がしみて痛みます。どうして？」  
**心配ありません。**

**第二象牙質ができるまでの我慢です。**

むし歯の修復治療をしたあと患者さんから、「むし歯を治したはずなのにしみたり痛んだりしますが大丈夫ですか？」と質問されることがあります。これは治療の方法と歯の構造によるもので、しばらくするとごく自然にしみたり痛んだりすることはなくなりますから心配いりません。

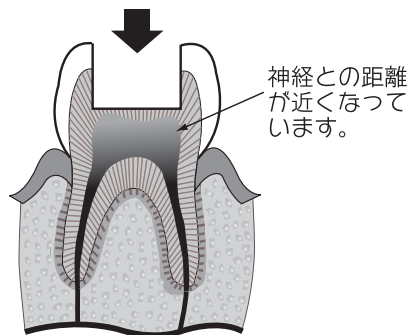
❖ **大きなむし歯は深く広く削ります**

私たち歯科医は、患者さんの歯をできるだけ残したいと考え、「削るのは**最小限に**」を心がけています。しかし、病気の広がりを防ぐためにどうしても大きく削ることもあります。そのため歯の神経の近くまで削ることになります。治療後の歯は、神経に近くなった分だけ刺激がすぐ伝わるので、軽い痛みやしみる症状が出やすいのです。



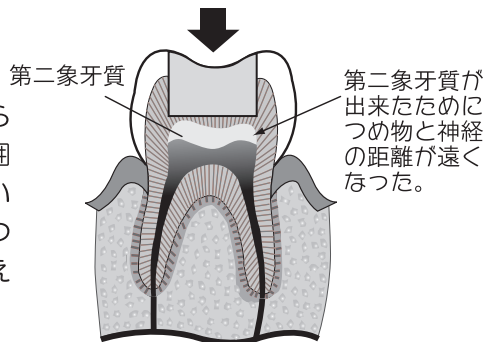
❖ **金属の修復物がより刺激を伝えます**

金属の詰め物や被せものは、冷たい熱いなどの刺激をよく伝えます。神経に近くなってしかも刺激をよく伝える修復物が入っていると、刺激の伝わりやすさは増えますから痛みやしみる症状が強くなります。



❖ **第二象牙質ができます**

しばらくすると歯は神経を刺激から守ろうとして、歯髄（歯の神経）を囲むように第二象牙質と呼ばれる新しい象牙質を作ります。これができると、次第に痛みやしみる症状は消えてゆきます。



**KOMIYA DENTAL NEWSLETTER**  
**8** 2003年 月号



例年になく梅雨明けの遅かった今年ですが、お米の生育が心配です。日本人は毎日パン食だと飽きてしまうのに、お米は毎日食べても飽きないのは何故でしょうか？私だけではないと思うのですが。

さて、お子様に「『むし歯菌』がお口の中にいて……」と予防の話をしていても、また、歯垢を赤く染め出して「この中に『むし歯菌』がいてね……」などと説明しても、「本当かな??」という顔をされて、自分で今ひとつインパクトが足りないと思っていました。そこでこの度、テレビ画面でお口の中の様子を見ることができる『位相差顕微鏡』を購入し使い始めました。

動いているむし歯菌を始めとする細菌を目の当たりにすると、さすがに食い入るように見ているお子さんが多く、反応の大きさに購入して良かったと思っています。見て見たい方はスタッフに気軽に声をおかけください。もちろん無料です。

いよいよ暑い夏本番です。のどが渴いたからと糖分の入った清涼飲料水、スポーツドリンクを飲み過ぎないようにしましょう。お子さんたちは休みの間どうしても間食が増えます。規則正しい食生活を心がけましょう。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
 このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

★ **診療日変更のお知らせ** ★

**8月13日(水)～18日(月)お盆休みです**



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ **03-5699-8888**